

## Vingroup が提案するベトナム電力大型計画

2025 年 4 月 7 日 作成

カテゴリー ベトナム市場調査 環境・再生可能エネルギー

### Vingroup が提案するベトナム電力大型計画

Vingroup は、ベトナム政府に対し、第 8 次電力計画（PDP8）に大規模な再生可能エネルギーおよび LNG 火力発電プロジェクトの追加を提案している。この提案には、2025 年から 2035 年にかけて総発電容量 47,500MW、総投資額 250～300 億米ドルのプロジェクトが含まれ、うち 2030 年までに太陽光発電 13,900MW、風力発電 6,600MW の合計 20,500MW を 20～25 億米ドルで投資予定である。また、ハイフォンにおける LNG 火力発電所（5,000MW）の追加も求めており、BOT 案件の停滞による電力不足を補うとされる。

ベトナム商工省は、電力供給確保のため 2030 年までに国内の発電容量を 21 万 1,805MW まで拡大する方針を示し、従来の計画より 56,000MW 増加させる見込みである。特に太陽光発電は 4 倍増の 34,000MW、揚水発電や蓄電池も 6 倍に増強し、中国やラオスからの電力輸入も拡大する方針である。

Vingroup は、提案されたプロジェクトが土地資源や送電網への接続性、大規模電力需要地への近接性を基に評価されており、国家的エネルギーセンター（5,000MW 超）として機能するポテンシャルを有すると主張している。加えて、ベトナム政府の掲げる GDP 成長率 8% 以上という目標に応えるためにも、同社の計画は現実的かつ急務とされている。

ベトナム商工省の試算によれば、2026 年から 2030 年にかけてのエネルギー分野全体の必要投資額は 1,360 億～1,720 億米ドルに達し、ベトナム企業および外国資本の積極的な参加が不可欠である。再生可能エネルギーの比率を高めつつ、安定的な電力供給体制を構築することが、今後のベトナム経済成長を支える鍵となる。

以上